

学部 / 人間科学領域 / 環境の理解

科目コード : 110307

# 人体生化学 Human Biochemistry

担当教員	国門 源量				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	15		
Keywords	人体の構成元素、化学反応、酸・塩基、化学平衡、濃度				
学習目的・目標	看護専門領域の教科を理解するための基礎として、生化学の知識や考え方を身につけることを目標とする。 高等学校で化学を受講しなかった者は、この教科を選択することを推奨する。				
授業計画・内容					
回	内容				
	(主な関連科目)				
1	人体の構成と必要な化学元素 ⇒ 「人間機能学Ⅱ」				
2	元素の単位、原子の構造 ⇒ 「人間機能学Ⅱ」				
3	化学結合とイオン ⇒ 「臨床薬理学」				
4	生体内化学反応 ⇒ 「人間機能学Ⅱ (酵素、代謝)」				
5	酸・塩基とpH ⇒ 「人間機能学Ⅰ」				
6	化学平衡 ⇒ 「人間機能学Ⅲ (酸塩基平衡)」				
7	濃度の計算 ⇒ 「臨床薬理学 (処方箋と調剤)」				
8	まとめ				
教科書	適宜プリント等を配付				
参考図書等	「コンパクト生化学」南江堂、「イラスト 人体の構造と機能および疾病の成り立ち」東京医学社				
評価指標	定期試験90%、受講態度10%				
関連科目	人間機能学Ⅱ、臨床栄養学、臨床薬理学				
教員から学生へのメッセージ	目に見えない物質の構造や働きを理解することは容易ではないが、暗記するのではなく、理解するように心がけて欲しい。				